

■著者紹介

ニール H. アンドリュース Neil H. Andrews

ケンブリッジ大学教授, クレア・カレッジ・フェロー (民事訴訟法・契約法)
バリスター, 法曹学院ミドル・テンブル評議員

[学歴]

オックスフォード大学ベイリオル・カレッジ (法学学士, 修士 (BCL))

[著書]

English Civil Procedure (Oxford University Press, 2003)

Principles of Civil Procedure (Sweet & Maxwell, 1994)

『英国における契約と紛争処理』(慈学社 2010) (英文出版)

『英国民事司法制度と救済方法: その展開と展望』(信山社 2007) (英文出版)

The Modern Civil Process (Mohr Siebeck, 2008) (ドイツ; ブラジルでポルトガル語訳)

The Future of Transnational Civil Litigation (British Institute of International and Comparative Law, 2004; re-printed 2006) (M Andenas and R Nazzini と共編)

Contract Law (Cambridge UP, 2011)

■訳者紹介

溜箭 将之 Tamaruya Masayuki 立教大学法学部准教授

[学歴・経歴]

東京大学法学部 (学士); 東京大学法学部助手; ニューヨーク大学ロースクール (LL.M.);
ケンブリッジ大学 (法学ディプロマ)

[著書・編著]

『アメリカにおける事実審裁判所の研究』(東京大学出版会 2006)

The Procedural Dimension of Contractual Disputes, *European Business Law Review*, vol. 3, issue 1 (2012) (M Andenas, N Andrews と共編)

[翻訳]

ダニエル・H. フット 『名もない顔もない司法——日本の裁判は変わるのか』(NTT出版 2007)

山崎 昇 Yamasaki Noboru 翻訳者, ニューヨーク州弁護士

[学歴・経歴]

中央大学法学部 (学士); スペイン外務省外交学校 (国際学コース・ディプロマ); コロンビア大学ロースクール (LL.M.); ニューヨーク大学ロースクール (国際経済法 LL.M.) / 外務省在ヴェネズエラ大使館・中南米局・条約局 (当時)・在アルゼンチン大使館等

[翻訳]

Dan L. BURK, Mark A. LEMLEY 『特許法における政策レバー』北海道大学・知的財産法政策学研究14号, 15号 (2007)

DAVISON, Rebecca Giblin-CHEN 『著作物の保護及びP2Pソフトウェア——リーガル・オプション, そのいずれを選択すべきか?』北海道大学・知的財産法政策学研究20号 (2008)